

導入事例

なぜ、ゼロバランサーを選んだのですか？①



事例1 直径4mmの容器に！！諦めていた自動化が実現



現在除湿した環境で手作業によるすり切り計量です。計量精度にばらつきがあります。また、試験管のような細い容器のため、直接計量ができません。そのため、一度薬包紙に計量してから、試験管に移し替えています。すりきり計量→微調整→容器投入、この一連作業に手間と時間がかかっています。

いくつか自動化を試みましたが…

- *「振動フィーダー」 供給する時間がかかり、投入速度を速くすると、精度が出ない。
- *「連続すり切り小分け型供給機」 精度は出るが供給時間が遅い。容器に粉末が入らず詰まる。

厳しい現状
自動化したいけれど…。細かい計量・容器充填・除湿した環境を伴うため、手計量でしかできない。

もしも自動化できれば？
・計量精度が良くなる！
・一連の計量作業が短時間でできる！
・作業環境が良くなる！

こんな供給機がほしい！
・計量精度が良いもの
・小径容器に直接投入
・コンパクトサイズ
・短時間で計量

そこでご提案！

ゼロバランサーY管型供給機

- 計量精度を満たせるか
- コンパクトサイズであるか
- 小径容器に直接投入できるか



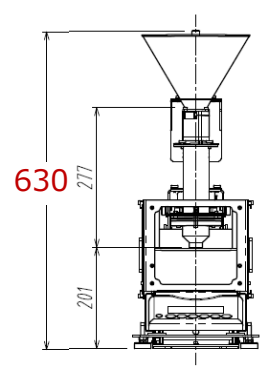
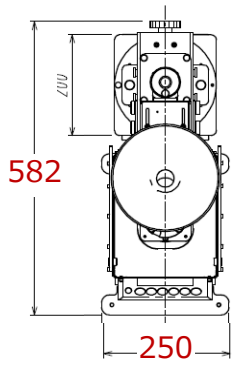
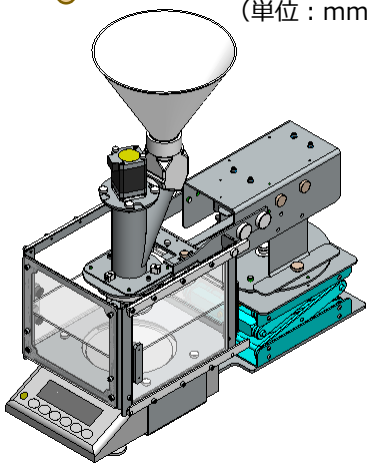
- 簡単な操作であるか
- 計量時間の短縮ができるか

お客様のご要望に当てはまります

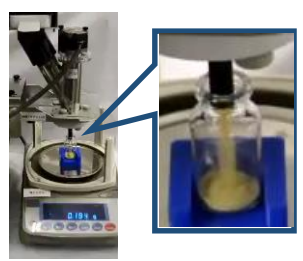


実際の図面・仕様

(単位：mm)

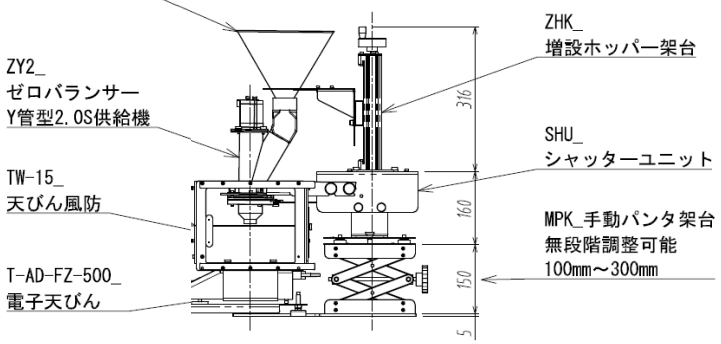


投入シュートや架台を入れても、高さ63cm、奥行き58.2cm、幅25cmのコンパクトサイズ



仕様
供給機：ゼロバランサーY管型
架台：手動パンダ架台
天びん：A&D1mg目量
制御盤：CP20

TS5_投入シュート5.6L



～導入後談～
今まで非常に苦労していた一連の作業が全て改善。作業時間も大幅カット。細かい操作説明や片付け等のやり方も、動画で見ることができ、購入までの不安も解消できました。もっと早く導入していれば良かったです。

